



議会だより

なよろ



2013 .11 .1 発行

30
No.



小さい秋
見つけた！



郷土・名寄の理解を深めてもらおうと開かれています市民講座「なよろ入門」は、このほど健康の森の自然を探訪。受講者の皆さんはキノコ採集などで、名寄の秋を存分に楽しんでいました。

第3回定例会

定例会で決まったこと・臨時会	2
決算審査特別委員会・可決された意見書	3
一般質問に10人	4～8
各委員会活動報告	9
各委員会視察報告	10～11
議会スナップ	11
きぼう・議会日誌・編集後記	12

(仮称) 市民ホールの 工事請負契約締結案を可決

平成25年第3回定例会は、9月2日から9月27日までの26日間開かれ、会議初日に市民の長年の夢である市民ホールの工事請負契約案を可決し、工事中へのスピード化を図ることができました。議案審議では条例案7件、補正予算案6件、平成24年度決算の認定案11件、報告5件、その他5件、意見書案4件を審議し、一般質問では10人の議員が市政について質問しました。

主な条例

名寄市子ども・子育て会議
条例の制定について

第2回定例会で市民福祉常任委員会に付託されていた案件で、現在、検討が進められている新たな子育て支援施策の実施に備える会議として、原案のとおり可決しました。

名寄市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について

名寄東病院の指定管理者による管理が、長期的な展望に立つて行えるよう改正するもので、原案のとおり可決しました。

主な補正予算

強い農業づくり事業補助金
道北なよろ農業協同組合が実施するかぼちゃ集出荷施設の整備に補助するもので、道の補助金1億7400万円と合わせて、2億5910万円を追加しました。

有害鳥獣・ヒグマ等対策事業

昨年と比較し、頻繁に出没するヒグマによる農作物被害防止や地域の安全確保を図るため176万円を追加しました。

よーな管理運営事業費

駅前交流プラザ「よーな」駐車場の除排雪と施設の一部

改良にかかる経費で、467万4千円を追加しました。
都市公園安全・安心対策事業

風連緑町公園内にある観賞池の漏水を防止するため450万円を追加しました。

河川維持管理事業費

豪雨などにより河岸の崩壊や、土砂の流入があった河川の改修を実施するため500万円を追加しました。



改修が待たれる風連緑町公園の観賞池

臨時会

第2回臨時会（6月28日）

議案審議では、老朽化した名寄ピヤシリスキー場グレンデ整地用圧雪車の更新による財産の取得について審議し、承認しました。また、一般会計5,018万8千円の補正予算を承認しました。

第3回臨時会（8月7日）

議案審議では、(仮称)市民ホール整備事業へ8,000万円の追加補正を承認しました。また、ヒグマ出没への対応策について緊急質問が行われ、地域住民の安全確保を強く要望しました。

平成24年度 決算審査特別委員会

平成24年度決算を認定

第3回定例会において、全議員をもって構成する平成24年度決算審査特別委員会が設置され、直ちに当委員会に一般会計ほか各会計決算の審査が付託されました。

第1回委員会を9月2日に開催し、委員長に竹中憲之委員、副委員長に川口京二委員を選出しました。

第2回目以降は、9月24日から27日までの4日間の実質審査に入り、各会派の代表による総括質疑並びに委員による質疑が行われ、行財政改革、生活・環境問題、福祉行政、教育、病院事業など身近な課題をはじめ、将来に向けての課題整理や各種事業の継続性、新規事業への考え方など、適正な予算執行にかかわって慎重な審査を行いました。

審査の結果、全会計決算中、一般会計及び国民健康保険特別会計、介護保険特別会計については賛成多数により、その他の後期高齢者医療、市場、食肉センター、下水道、個別排水、簡易水道の6特別会計と病院事業会計、水道事業会計は全会一致で認定しました。

委員会としては、各会計決算はいずれも正確な収支が行われ、予算の執行が適正であったことを認め、結審しました。



竹中委員長（左）と川口副委員長（右）

第3回定例会で次の意見書を提出することに決定しました

鳥獣・海獣被害防止対策の充実を求める意見書

1. 地方自治体への財政支援を充実させるとともに、鳥獣被害防止総合対策交付金の予算を拡充すること。
2. 狩猟者の確保・育成に向けた対策の強化と支援を拡充すること。また、狩猟者の社会的役割に対する国民的理解と狩猟者の社会的地位向上の促進を図ること。
3. 海獣被害に対しては、追い払いなどの防除対策事業、個体数調整のための調査捕獲事業、及び生息域などの把握のためのモニタリング事業をより一層推進すること。

JR北海道の重大事故・トラブルの徹底した原因究明と安全運行を求める意見書

1. 事故原因の徹底究明と事故防止策の作成を急ぎ、情報公開を行うこと。
2. 車両・設備の更新に必要な技術的、財政面の支援強化をはかること。
3. 車両の検査体制は、積雪寒冷地、長距離運行という北海道の特徴に合わせた内容とし、検査機関の規制緩和は行わないこと。

札幌航空交通管制部の存続を求める意見書

1. 道民の安全・安心な航空交通を確保するため、札幌航空交通管制部の存続を要望する。

ブラック企業根絶を求める意見書

1. 若者を使い捨てにする「ブラック企業」の根絶をめざし、安心して就労できる環境の整備と働き続けることのできる社会の実現を目指すことを強く求めます。

一般質問



責任ある市場対応を

市民連合・凜風会 日根野 正 敏 議員

公設市場の今後

問 今年8月末に倒産した名寄公設地方卸売市場の指定業者である丸鱈魚菜卸売市場株式会社(丸鱈)の営業停止に伴い、責任を持って適切な対応を、

答 市場の継続については、後継業者確保に向けて交渉している段階で、責任を持って対応していく。2500万円に上る市場を利用していた農家への未払金は破産管財人の手に委ねたい。離職を余儀なくされた従業員19人への対応は、ハローワーク、市、地域人材開発センター等が、各種職業相談をしている。今後も関係機関と連携をして対応していく。予定していた市場事務室移転工事(600万円)は、見通しが固まるまで延期をしたい。

パソコン教室に冷房を

問 小中学校のパソコン教室は、コンピューターに電源を入れると教室内が高温にな



営業停止となった名寄公設市場

り熱中症や機械故障の原因、ホルムアルデヒドが高く検出される学校もあり、冷房施設のない教室には設置をすべき。
答 未設置の学校は市内に南小、豊西小を除き6校あり、特に風連中学校、智恵文小学校のパソコン教室からホルムアルデヒドの検出があり、次年度設置に向け前向きに取り組みたい。その他の学校についても、財政と相談しながら順次、整備を検討していく。
他の質問・来春の市長選挙に対する加藤市長の考え



市民が主役のまちづくり

新緑風会 大石 健 二 議員

特別警報の避難対策は

問 気象庁は、8月30日から運用を開始した大規模災害の発生を警告する特別警報を早くも9月16日未明に発令。この新たな特別警報の運用により名寄市では今後、未曾有の災害発生時に一刻を争う迅速な避難行動に不慣れな名寄市民への避難情報の伝達と避難方法等の対応策は。また昨年10月から進めている自力で避難が困難な災害時要援護者の名簿の整備状況は。

答 情報伝達については現在、手続きを進めている携帯電話の緊急速報メールや広報車やJアラートを用意。名簿は82町内会中46町内会から155人を搭載し、市と町内会で共有している。

街区公園の維持管理は

問 旧児童公園の街区公園の草刈りなどの維持管理は最寄りの町内会で行っている。近年利用者の意識や管理に当



「草刈りが大変だ」と高齢化が進む町内会から声上がる街区公園

たる町内会役員の高齢化などにより、維持管理が負担になってきているが市の対応は。
答 町内会の担い手不足などにより、高齢化が進み公園の維持管理が困難になっているのは認識している。今後町内会に維持管理をお願いしていくが、要望があれば協議させて頂きたい。
他の質問・加藤市長の政治姿勢・平成26年度予算編成について・生活弱者への支援は・日進地区の再整備について

一般質問

空き家対策について

問 空き家数と今後の空き家対策について

答 市内の空き家は約380戸と推定され、空き家の割合は3・6%で、管理不全と判断される家屋は84戸である。今後の空き家対策については、居住者の死亡や転居、相続人が居住していないことなど、さまざまな原因がある。空き家が管理不全となる前に所有者に対して適切な管理を義務付けることや意識付けが重要と考える。所有者の自発的な適正管理を促すため、国の新法案を検証しながら、空き家条例の策定に向け作業を進めている。

防災対策について

問 近年は、集中・ゲリラ豪雨が多発、洪水被害の実態と避難所の収容体制と動線は。

答 平成22年7月の豪雨では床上下浸水45件、97人が避難勧告、その他豪雨による土

安心・安全なまちを

市民連合・凜風会 竹中憲之議員



のうの設置はあったが、住居や人命に係る大きな被害は発生していない。一時的収容では「よろーな」、名高、名農キャンパスなど5施設で1万1322名の収容が可能だが、50以上の浸水域では1万9700人の避難者と推計、風連への避難と民間施設の利用も想定される。避難準備情報、避難勧告等が出たときは早めな避難が肝要。例として図書館以南は浸水0m地点なので、「よろーな」をめざし身の安全を確保する動線で避難することが必要。出前トーク等で説明したい。

他の質問

・いじめについて



解体されたままの住居跡

木質バイオマス利用は

問 炭化センターの耐用年限が近くなった。一般ゴミと木質バイオマスを混ぜて発電する場合、それぞれの分量で電気を買い取る仕組みとなるが、混焼発電は利益を見込めるが検討を。

答 新しい提案であり興味深い。一日の必要量など調査し、市民部とも連携して将来の可能性を研究したい。しかし、北電の変電所の容量や買い取りを認めるかなど、ハードルは高い。

「よろーな」の音の響きは

問 駅前交流プラザの音響は議会でも配慮を求め、市民からの要望もあった。なぜこのように音が響く施設になったのか。また、音響設備の費用対性能を考えると、なぜこのような選択になるのか。

答 利用者からも音の響きに意見をいただいている。実際に施設が完成するまで、こ

混焼発電の可能性は

市政クラブ 東千春議員



のような響きになることは予想できなかった。また、建築業者が建材を選定したのではなく、コンサルの設計により、このような施設となった。設計会社に原因究明を求め、改善方法を協議する。大会議室の音響機材は工事費込みで350万円。講演会や会議、BGM等での使用を前提に選定した。利用者から音質に対するクレームはないが、今後、選定には配慮する。

他の質問・交流人口について



「よろーな」の音の響きの改善を

一般質問



2025年モデルへ転換

市政クラブ 佐々木 寿 議員

要支援 市町村事業に移行

社会保険制度改革国民

問 会議最終報告書（以下「制度改革」）にかかわって要支援者の介護予防サービスが市町村事業に移行されること、特別養護老人ホームの入所基準が要介護3以上に限定されるが、市の対応について伺う。

答 当市の7月末で「要支援1・2」合わせて417人。この要支援認定者の68%が介護予防サービスを利用している。清峰園、しらかばハイツで「要介護1・2」の入所者は合計27人いるが、経過措置が設けられており、退所には至らないと考える。なお、今後開催される厚労省の社会保障審議会介護保険部会の内容を注視し対応を図る。また、26年度の第6期高齢者保健医療福祉計画及び介護保険事業計画の策定にあたり、高齢者のニーズ調査及び介護保険法の改正内容を踏まえて、サービ

スの低下とならないよう計画したい。

男性の育児休暇取得促進

制度改革による育児取

得率は、女性約84%に比し、男性約2%と低い。男性市職員

の取得現状と今後の促進対応を伺う。

男性市職員の育児休暇

取得は3人。推進にあたり「名寄市特定事業主行動計画」で取得しやすい環境整備を目指し、具体的目標値を女性

性は概ね100%、男性は5%としている。

他の質問・健全、安心な教育

環境の推進、地域づくり



清峰園



しらかばハイツ

特別養護老人ホーム



健康マイレージの導入を

公明 高橋 伸 典 議員

自分の健康は自分で守る

日頃の健康づくり活動

をポイント換算し、健康施設利用や景品等との交換ができる「健康マイレージ」を導入

する自治体が全国に広がり、本市においても健診受診率の

向上や健康づくり事業への市民の積極的な参加を促すため、

楽しみながら健康づくりができるマイレージの導入を。

生活習慣病予防や介護

予防の観点から、健診を受けることより健康管理につなげていくため、検診受診率向上

や市民に対する積極的な健康づくりへの働きかけが必要で

す。平成26年に「健康づくり」

や「介護予防事業」に対する

ニーズ調査を行い、希望や意

見を把握し、併せて市民の健

康に対する意識を高め、健康

づくりへの積極的な参加を誘

導する仕組みについて研究し

てまいります。

災害対策基本法改正

災害時要援護者の名簿

作成と個別計画及び避難所に障がい者・高齢者・女性・子どもの視点の福祉避難所の普及と備蓄物資の配置を。

名簿作成は、昨年10月か

ら「手上げ方式」で取り組み

を始めて、537人中155

人は災害時要援護者名簿を市

と地域で共有。避難所の整備

は、衣食住に係るものと薬品

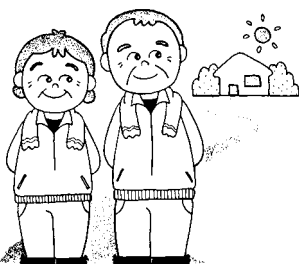
など可能な物資は避難所に一

定程度配備し対応を進める。

他の質問・小中学校の全クラ

スに空調機器を・全国学力テ

ストについて



健康のため毎日の運動を

一般質問



地域農業を守るために

市政クラブ 山田 典 幸 議員

集中豪雨被害への対応

問 8月20日、市内智恵文地区において強風とひょうを伴ったゲリラ豪雨が発生し、圃場の冠水などにより農作物が大きな被害を受けた。今後の排水能力改善の対策と、被災農家への支援の考え方は。

答 今回の冠水被害があった河川に関しての対策としては、河川断面を大きくするなどの手法が考えられるが、工事財源や用地買収なども必要になることから、現在、検討を行っている。また、国道横断部分についても道開発局と協議を開始しているが、市の計画に合わせたの対応となるため、一定の時間が必要と考えている。今後も関係機関と協議を重ね、課題解消に向けて対応を進めて行きたい。被災農家に対する支援は農家ごとの被害額の状態を見極めながら必要な措置を協議する。

ヒグマ出没への対応

問 ヒグマ出没の状況と今後の被害防止対策は。

答 9月2日現在で、43件の出没情報があり、昨年同時期と比べ4件の減となっているが、7月に出没が確認されるなど、例年より早期の出没が目立った。電気柵の設置による被害防止効果が確認されており、今後、農作物被害を防ぐ有効な手段として、農家への周知を行っていきたいと考えている。

他の質問・学校力向上総合実践事業の具体的取り組み他



冠水被害を受けたかぼちゃ畑

12月から見直し運行

問 コミュニティバスの運行見直し時期、見直しのポイントおよび交通弱者対策・利用促進対策で新たな割引制度の検討はできないか。実証運行後の継続についての考えは？

答 高齢者などの日常生活に欠かせない買い物や通院等に困らないよう、乗り継ぎの解消と駅起点の変更を最大の課題とし、利用者のみなさんの意見も聞き路線・便数の見直しを行い12月に路線ダイヤの改正を実施したい。新たな割引制度や無料パスについては福祉的な施策としての要素が高い事もあり、総合的に改めて検討。公共性が高いことから必要な支援を検討し継続運行が必要と考える。

平和の推進

問 平和の推進、「非核平和都市宣言」を具現化するため8月の広島・長崎原爆投下

市民の声を聞きながら

市民連合・凜風会 奥村 英 俊 議員

の日、終戦記念日にサイレンを鳴らし黙とうの呼びかけ等の取り組みを。

答 今年度は憲法ロードレース、戦没者追悼式、平和音楽大行進、名寄「原爆の絵画展」の後援、戦争体験を語り継ぐDVDに戦中生活を語る資料を加え、平和教育への活用を図っている。今後は杉並区の取り組み等を参考に次年度以降の課題とし、普及・啓発を進める。黙とうの呼びかけ、サイレンを鳴らす取り組みは次年度から可能。

他の質問・男女共同参画推進条例の制定について



きれいにラッピングされた実証運行中のなよろコミュニティバス

一般質問



国保は社会保障制度

日本共産党 川村 幸 栄 議員

名寄市の国保の現状は

問 「社会保障と税の一体改革」の推進で「国保の都道府県単位化（広域化）」が進められようとしている。国保財政の悪化や地域の実情や住民の声を踏まえた対応が困難になるなど不安は大きい。国民皆保険制度の崩壊が危惧される。市の考え方は。国保の滞納者への差し押さえや短期証発行世帯への交付方法、分納や軽減・減免の相談状況は。

答 迅速に情報収集を行いながら議論を深め、新たな市民負担を生じさせない制度改革とするため必要な要望を行う。国保加入世帯の平均所得に対する保険税の割合は11・8%。市税全体の差し押さえは345件。短期証交付は150世帯で夜間窓口での交付や郵送、訪問による手渡しを行っている。相談では、所得状況の確認など適切な対応をしたい。

電気料金値上げの影響は

問 9月からの北電の値上げは、市民に大きな影響を与えている。泊原発の維持管理費が約800億円にのぼり、泊原発3号機の導入が電力コストを押し上げ、社外役員の報酬が原価に算入されての値上げは納得がいかない。高橋知事は北電に経営効率化を求めたが、市の対応は。

答 6月の説明会で企業努力による値上げの中止や値上げ幅の引き下げ等を求めた。他の質問・雪を活かした街づくり



雪氷冷熱と太陽光熱を利用した南富良野町の「木質チップ乾燥施設」

NIE（新聞活用教育）



二丁ズを踏まえた教育

清風クラブ 上松 直 美 議員

問 NIEが全国の教育現場で広がっている。新聞をどのように活かし、何を育てようとしているかに着目し、学校教育に活かせることをしっかりと学びとることが教育行政の責任と考える。幅広く情報を収集し、学校教育で推進してほしい。

答 学習指導要領に基づき、各教科等の学習において、目標を実現するため有効手段として、適切に新聞を活用した教育を推進している。NIEに取り組むことにより、子どもたちの読解力の向上と学力向上につながることは、十分理解している。確かな学力の育成を図るため、新聞を効果的に学習に取り入れ、今後ともNIEに対する情報をアンテナを張って収集に努めたい。

問 産業高校の将来ビジョン



名農キャンパスの有効活用を

産業高校の将来ビジョン

問 名農キャンパスの将来ビジョンと多目的利用を地域に必要な時代にあつた学科転換も視野に道教育委員会に強く求めるべきでは。

答 上川北学区高校配置計画では、40人減以上の学校で学科の見直し、定員調整が肝要となる。酪農科学科、建築システム科の今後の出願率が心配される。しかし、地域に必要な間口であり、二丁ズ、要望をしっかりと踏まえた配置計画案になるように、道教育委員会へ求め、情報収集に努めたい。

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

委員会は6月27日、8月27日に開会して行財政改革の推進、学校教育及び社会教育の推進、ふるさと融資、新エネルギー政策の一環であるメガソーラーと（仮称）市民ホルのそれぞれの進捗状況についての説明を受け審議しました。ふるさと融資は総務省所管の財団法人・地域総合整備財団（ふるさと財団）の融資制度。平成25年度の制度改正に伴って特例措置が講じられ、市の地域振興につながる民間プロジェクトを支援するため、名寄市も国と協調して無利子で融資を行う制度として今回、再生可能エネルギー電気事業のメガソーラー事業が採用されました。



学校教育の推進
（南小学校の完成予想図）

市民福祉常任委員会

委員会は、8月7日、22日、28日に開会。主に平成25年第2回定例会で付託された、議案第1号名寄市子ども・子育て会議条例の制定について審査を行いました。条例の目的は、子ども・子育て支援事業計画の策定や市長の諮問に応じた調査審議、必要に応じ市長に意見を述べる会議の設置を目的として、提案されました。審査では、原案に委嘱される委員の男女比率を加えるか否かで意見が分かれ、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。その他、市立病院の本年、第1四半期の経営状況、看護基準7対1の導入、手数料徴収条例他4条例の一部改正の説明がありました。



子どもの健やかな
成長を願って

経済建設常任委員会

委員会は8月19日、9月10日に、また、8月20日のゲリラ豪雨・強風・降雪被害がでた智恵文地区のスイトコーン及び葉物野菜等の現地調査を8月23日に行いました。経済部・建設水道部所管の平成25年度名寄市一般会計・水道事業会計・下水道事業特別会計の補正予算、市営住宅滞納家賃請求（2件）、地域の元気臨時交付金事業についての内容について説明を受けました。また、名寄市公設地方卸売市場「丸鱈名寄魚菜卸売市場」の自己破産申請に伴う業務停止に係る概要について説明を受けました。



智恵文地区の被害調査

8月19日午後建設水道部所管事業の工事進捗状況（4及び農作物の作況調査（6カ所）を行い、ました。

議会運営委員会

今年6月の第2回定例会以降、5回の委員会を開会し、平成25年第2回及び第3回臨時会、同第3回定例会の議会運営について協議しました。第2回臨時会は、財産の取得及び25年度一般会計補正予算の2件が議案として提出されましたが、（仮称）市民ホル建設工事入札が2回延期となったことに伴う市長発言を認めるとともに、早期発注を求める議長発言も許可しました。また、第3回臨時会では同ホールにかかわる補正予算等を上程しました。第3回定例会は、会期を9月2日から27日までの26日間とし、18日から3日間予定する一般質問には10人が登壇。上程議案は29件、報告5件、意見書は4件となりました。この間の24日から27日まで平成24年度決算審査特別委員会を開催。同委員会委員長に竹中憲之委員、副委員長に川口京二委員を確認しました。なお、総括質疑は3会派代表が行うこととしました。

総務文教常任委員会視察報告

三笠市・千歳市・江別市・岩見沢市

委員会は7月1日から3日間の日程で道内4市を視察しました。

三笠市では、高校の募集停止に伴う地域に及ぼすさまざまな影響を考慮して特色ある食物調理科を新設して脚光を浴びる市立三笠高校を視察。また、あわせて道内では初めて導入された小中一貫教育についても視察し、小中学校の区切りをなくして義務教育9年間を基礎学力の定着と向上をめざす教育に取り組んでいきます。千歳市では、防災学習施設「そなえーる」を視察。防災学習室や屋内訓練室などが設けられており、体験と学習を通して防災意識を高める施設として市内外から強い関心を集めています。江別市では北海道情報大学の図書館を視察。自動書庫システムなど現在、名寄市立大学で計画が進められている図書館建設に向けてさまざまな参考事例を紹介

介して頂きました。岩見沢市では土曜ふるさと学校を視察しました。授業のない土曜日に市内小中学校を会場にして地域の市民が講師となり、知識や経験を伝えていくことで子どもたちに地域のつながりの大切さを、そして講師をとめる市民にも学習活動の一翼をになつて頂く取り組みが行われています。以上、教育行政施設4ヶ所、防災施設1ヶ所の計5ヶ所を視察しました。いずれも地域と子どもたちとのかわり方と、これからの教育方針を模索する名寄市にとり意義ある視察でした。



情報大学図書館にて

市民福祉常任委員会視察報告

見附市・長岡市・糸魚川市・上田市・松本市

委員会は7月1日から4日まで、4日間の行程で道外6箇所、新潟県見附市、長岡市、糸魚川市、長野県上田市、松本市を視察しました。

見附市では、空き家等の適正管理に関する条例の取り組みについて視察。建物自体の危険度を4段階に分類し、危険度の「見える化」を実施。レベル2以上を老朽危険空き家と認定し、実績をあげていました。長岡市では、子育て支援「子育ての駅」の取り組みを視察。冬の間や雨の日でも利用でき、安心安全のため、保育士のいる屋根付き公園の発想で、平成21年、24年までに4箇所開設し、多くの市民が利用していました。糸魚川市では、ごみ処理施設の現状と次期計画について視察。炭化物を工場等の燃料として再利用する国内初のシステムを採用し、供用開始してから10年が経過したことから、専門家

も含めて現在、次期計画を検討中。上田市では、環境基本計画と環境保全プランの取り組みを視察。家庭用太陽光発電の普及率2割を目標にしています。また、防犯灯のLED化を5年計画で推進しています。松本市の「健康寿命延伸都市」の取り組みは、6つの基本目標を定め、取り組み全ての施策が健康寿命延伸につながる総合計画を策定、平成25年3月に第1回健康寿命を延ばそうアワードの自治体部門で厚生労働大臣賞を受賞しています。



多くのボランティアの協力を得て運営される長岡市の「子育ての駅」

経済建設常任委員会視察報告

富山市・上越市・飯山市・千曲市・安曇野市

視察は7月23日より26日までの4日間、本州5市で8項目の調査を行いました。

富山市では「環境未来都市計画・再生可能エネルギー」を視察。再生可能エネルギー活用、公共交通の活性化、農工商連携によるビジネスが推進されています。上越市では「上越ものづくり振興センター」の取り組みと特産品開発支援事業補助金を視察。支援事業の新製品・新技術の研究開発、地域資源を活かした農工商連携に取り組んでいます。飯山市では「飯山市優良土産品推薦条例、短期農業ヘルパー」を視察。農業労働力の確保のため行政と農協が連携して取り組んでいる組織で現在は、飯山市農業センターとして農地利活用の促進と担い手への集積を図っています。千曲市では「信州千曲ブランド」を視察。同市の地域資源を積極的に活用し、新



上越ものづくり振興センターにて

たな価値を生み出す取り組みを「千曲ブランド」と定義し、開発の促進と市内外への浸透を図ることを目的とし、各産業分野にとらわれない産業界の連携を展開しています。安曇野市では「野外広告物条例」を視察。同市を縦貫する中央自動車道にオリンピック道が新設され、人・物の流れが大きくなり、野外広告が乱立したことにより景観への影響を考え、市民と行政が協力して条例化を進めました。

議会スナップ

林活議連で森林整備

森林・林業・林産業活性化推進名寄市議員連盟（植松正一会長）では、今年も「健康の森」内にある植樹地で除伐、下刈作業に汗を流しました。

（7月18日）

久しぶりの作業に腰痛悪化？



風舞あんどんに参加

名寄市議会議員有志14人が「第35回風連ふるさとまつり」に参加。昨年に引き続いての参加で、お盆休みで帰省した市民とともに、祭りを盛り上げていました。

（8月13日）



揃いのはんてんを着て氣勢をあげました。

☆ き ぽ う ☆



感動のコンサート
しんの ひでかず
 名寄市西5条南10丁目 神野 秀和

私は名寄南小学校1年生を担当しています。先日、本校体育館において、カズンのコンサートが行われました。本校では、カズンの曲「僕が君から借りたもの」、「ひまわり」を全校合唱として歌っています。親しみ深く曲を作詞作曲したプロの方が来校し、生で聴ける感動の1日となりました。1年生は最前列の席で間近に見ることができましたし、マイクを向けていただき、元気な声を聞いていただくこともできました。最後は「僕が君から借りたもの」を会場全員で大合唱し、最高の盛り上がりでコンサートを終えました。その後の記念撮影も子ども達はにこにこ顔でした。

現在、教室ではコンサートで聴いた「WAVE」を元気に歌っています。1年生にとって、このイベントは感動あふれる大きな思い出として心に刻まれたことと思います。



私の野望
やまくち わたる
 名寄市智恵文7線 山口 渉

エッセイ漫画を描いて自らが広告塔になり自分の作った有機野菜を販売したい。これが私が農業を始めるにあたっての野望でした。今年で就農3年目。なかなかその野望を実行に移す事が出来ませんが、この3年間エッセイ漫画を描くのに十分な体験をしてきました。

ゼロからスタートの農業は何もかもが新鮮で目新しいものでしたし、いろいろな行事に積極的に参加してきたおかげで、さまざまな人々と貴重な体験ができました。4Hや青年部といった同世代の仲間との交流や、お祭りなどでの地域の人々とのふれあいなどです。このすばらしい体験、人々、故郷をエッセイ漫画を通して全国の人に見てもらいたい。そして名寄という素敵なまちをもっと大勢に知ってもらいたいです。

野望実現のため、自慢できる農作物と漫画を作れるようになるのがこれからの課題ですが。

議会日誌

6/11 議会運営委員会	8/7 第3回臨時会	8/28 市民福祉常任委員会
6/12 議員協議会	議会運営委員会	8/30 議会運営委員会
6/13 議会運営委員会	市民福祉常任委員会	議会報特別委員会
6/19 議会報特別委員会	8/19 経済建設常任委員会	議会報告会(31日まで)
6/27 総務文教常任委員会	8/22 市民福祉常任委員会	9/2 議会運営委員会
6/28 第2回臨時会	8/23 経済建設常任委員会	9/10 経済建設常任委員会
議会運営委員会	8/27 総務文教常任委員会	



編集後記

勇気に感動

横浜市のJR踏み切りで尊い女性の命が失われる人身事故が発生した。女性は遮断機が下りた踏切の中に走り寄り倒れている男性をレールの間に横たえた。電車は男性の上を通過し助かったが、女性は命を落とした。他人には無関心と言われる時代の中で、自分の命も顧みず人を助けようとする素晴らしい人もいるということと勇気に感動した。無理ではあるが、こういう人になりたいものだと思つた。現場には献花が絶えないそう。私もご冥福をお祈りさせていたたく。実りの秋も終りすぐ寒い冬がやってくる。風邪などひかないよう健康に気をつけて明るく元気にお過ごしください。

(京)

